

こうの 河野 通有 (1250~1311)



鎌倉時代の武将。久米郡石井郷(現、松山市)を領有し、縦淵城を本拠とする。元寇の時に出陣し、九州の御家人らとともに沿岸防備にあたった。伝えられるところでは、弘安の役で石塁を背にして陣取り、「河野の後築地」と賞賛されるほどの豪胆さで奮戦したといわれる。その勲功により、肥前国神崎荘(現、佐賀県)、山崎荘(現、伊予市といわれている)などに恩賞地を受け、かつて承久の変で京方に味方し衰微した河野家の勢力の回復に、大きな役割を果たした。また、西国の海賊の鎮圧にもあたった。

略歴

- 建長2(1250)年 伊予国の豪族・河野通継の子として生まれる。
- 文永11(1274)年12月30日 蒙古襲来(文永の役)に対応するため伊予へ帰国することを、六波羅探題の北条義宗に了承される。
- 弘安4(1281)年 2度目の蒙古襲来(弘安の役)に備え、筑前国(現、福岡県北西部)に出兵し、防備にあたる。
- 正安2(1300)年 鎮西探題より、肥前国の一宮・河上神社(現、佐賀市に鎮座)の造営を命じられる。
- 徳治2(1307)年3月25日 六波羅探題より、西国や熊野の海賊の鎮圧を命じられる。
- 延慶2(1309)年6月29日 幕府より、帰国して伊予国の賊徒を鎮圧するよう命じられる。
- 応長元(1311)年7月14日 62歳で永眠

(肖像画：宮内庁三の丸尚蔵館蔵の『蒙古襲来絵詞』より)
(河野通有部分の写真提供：愛媛県歴史文化博物館)

〈関連図書〉

- ・伊予史談会『予章記』 伊予史談会 1982年
- ・愛媛県史編さん委員会『愛媛県史 古代Ⅱ・中世』 愛媛県 1984年
- ・小松茂美『日本の絵巻 13 蒙古襲来絵詞』 中央公論社 1988年
- ・愛媛県史編さん委員会『愛媛県史 人物』 愛媛県 1989年
- ・川岡勉・西尾和美『伊予河野氏と中世瀬戸内世界 戦国時代の西国守護』 愛媛新聞社 2004年

〈ゆかりのある場所〉…(P274, 43~44)

〈関連施設〉…湯築城資料館

〒790-0857 愛媛県松山市道後公園内 TEL：089-941-1480

愛媛県歴史文化博物館

〒797-8511 愛媛県西予市宇和町卯之町4丁目11番地2 TEL：0894-62-6222